

# みどりみらい ぐんじとしのりの議会報告

2000/01/07 Vol. 21 西の原 2-3-6-104 TEL/FAX 45-8362  
E-MAIL ID / toshigunji@hotmail.com

## あけましておめでとうございます。

昨年は皆様大変お世話になりました。心より感謝致します。ありがとうございます。皆様と同じ視線で物事を考え、情報を提供し、ご意見をお聞きし、働いて参りますので昨年同様、変わらぬご支援賜りますよう、努めて宜しくお願い申し上げます。

## 印西市議会/平成 11 年度第 4 回定例会報告 (4)

ご報告が遅れました。今回は定例会で私が「まちづくり研究会」の代表質問をした「決算報告と公会計改革について」報告をして参りたいと思います。

1月1日に印西市より配布されている「広報 いんざい」をご覧になられましたか？  
4 ページ、5 ページには平成 10 年度の決算報告がされています。この決算書は各年度末の決算の状況をまとめたものです。

現行の自治体会計は現金の流れだけを把握するものですから、この決算書からは

- (1) 現金がどこから入ってきたのか？(市税、交付税、補助金 etc)
  - (2) 現金は何に使われたか(人件費、建設費、補助金 etc)
  - (3) 現金はどれだけ残っているか ということしかわかりません。
- (つまり、現金の出し入れの結果だけを示しているのが現行の決算書と言えます。)

しかし、市民の皆様が知りたいのは、次のようなことではないでしょうか？

- (1) 赤字にならずに市政の運営は出来ているのか？
- (2) 収入となるべきお金は入ってきたか？
- (3) 現金、預金はどれだけ残っているのか？
- (4) 市民に使っていただく資産(社会資本)はどれだけあるか
- (5) 将来の市政運営への備えはどのようになっているのか
- (6) 借金はどれだけあるか？ などなど、

つまり、市民の皆様が知りたいことはまとめると

- \* お金の流れは安心できるか？
- \* 資産の蓄積は確実に進んでいるか、過大な借金を抱えていないか？
- \* 市民へのサービスは充実し、満足できるものであるのか。 ではないでしょうか？

しかし、これまでの決算書では先述したとおり、「お金の流れはどうなっているか」程度の内容しかわからないのです。

前回のこの紙面では、「私は印西市の決算認定に反対票を投じました。」とのみご報告を差し上げました。では、12 月議会の質問と回答を通して、どこが問題でどのようにすべきなのかを提言してまいりたいと思います。

(質問) 現在、市では決算に関する書類をどこまで公開し、それは市民にどのように公開されているか。

(回答/市長) 決算については、地方自治法 233 条および同法施行例第 166 条に基づき政令で定められている歳入歳出決算事項別明細書および実質収支に関する調書並びに財産に関する調書等を添えて決算審査を受けております。また、決算審査後、市広報誌において、市民の方々に決算状況を公表すると共に、今年度開設しました市役所 1 階ロビーの行政資料コーナーにおいても決算書を市民の閲覧に供しております。

- このように市長は答弁されていますが、この回答の通りに、「広報 いんざい」にての報告がされています。しかし、私が求めている、市民の皆様が知りたい回答は返ってき

ておりません。果たして、このような「決算書」で私達の税金で運営される市政の透明性を高め、市が市民に対して市政の状態を数字をもって明確にする「説明責任」を果たすことができるのでしょうか？私にはどうしても現在の決算書からは現在の市が保有する財産や将来の負担となるべく負債の状況がよみとれず、『資金繰り』の報告のように感じてしまうのです。

ここで、**考えられるのが、民間企業で使われているB / S (バランスシート)の導入です。**  
B / S (バランスシート)は会社の経営内容を示す財務諸表の中で損益計算書と共に最も重要な資料といえます。損益計算書が期間中の企業活動によりどのように利益が形成されたかを示すものであるのに対して、**B / S (バランスシート)は期末における資産の状態がどのようになっているのかを示します。**B / S (バランスシート)と損益計算書の両方が整備されてこそ、経営内容を説明できるようになると言われています。勿論、自治体は民間企業と違うわけですからB / S (バランスシート)と損益計算書を作ることにより、利益がどれくらい上がったかを把握することは目的ではありません。自治体は市民のお役にたてることを目的とし、自治体が提供できるものはサービスだけだからです。(その意味では企業における「損益計算書」に該当するものは「サービス形成勘定」といえるものかもしれませんが、将来的には「サービス形成勘定」も導入すべきでしょう。)

現在、このB / S (バランスシート)の作成は一つの流れになってきています。  
( B / S (バランスシート)の作成なしには、「サービス形成勘定」を作成することはできません。)既に多くの自治体で、B / S (バランスシート)作りの取り組みや作成をはじめています。 - 例えば、神奈川県藤沢市、三重県、宮城県、大分県杵築市、東京都 他

**(質問 )市の会計制度の改革については公会計制度(バランスシート)の導入が考えられるが、市としても先進自治体を把握し、職員が研修に出向かれた実例はあるのか。**

**(回答 / 市長)** 先進自治体の情報については、昨年度より出来る限りの収集に努力しておりますが、主な手段としては、インターネットによる検索で都道府県及び各市の状況を把握しております。また、先進地の自治体に職員が出向いて研修はしてありませんが、今後県等の動向をみながら、必要に応じて対応してまいりたいと考えております。

**(質問 )公会計制度改革に向けて多くの勉強会が開かれていますが、参加した実例はあるか？**

**(回答 / 市長)** 勉強会への参加はこれまでのところ、実績はございません。

印西市の取り組みはまだ始まったばかりです。私は市政の説明責任を果たす為に今後もこの問題について提言していきます。

### **千葉ニュータウン地域に高等学校の建設を！**

千葉ニュータウン地域4市町村の総人口は約13万人、現在関係市町村内には、「千葉ニュータウン地域高等学校建設促進期成同盟」が結成され、何としてもこの地域に高等学校を建設するという意気込みで10万人署名を自治会 / 町内会を通じ、開始する予定となっていますので、ご協力を宜しくお願い致します。

### **一灯照隈、万灯照国**

今年は衆議院議員選挙、そして印西市市長選挙が行われます。日本という国を、そして印西市をどのようにすべきかが問われる年です。

表題は私の師である「錦織(にしこおり)淳」が好んで使う文言です。  
一つのともしびは、一つの隅しか照らせません。しかし、それでいいのです。  
みんながともしたら、万灯照国となる。むしろ、一人で照国になるような人材を求めたらそれはダメである。自分なりに一灯照隈を考えて行きましょう。

きっとこの国もこの街も変われます。皆様の力で。今年1年がんばって行きましょう！

\*いつもご声援ありがとうございます。(次回は1月下旬に紙面を発行する予定です。今後ともご指導ください。宜しくお願いいたします。) ぐんじとしのり